

新学習指導要領改訂のポイント「カリキュラム・マネジメント」を考える

気持ちのよい朝です。

校舎北側の駐車場側の草地もたんぽぽの鮮やかな黄色が目立つ季節になりました。たんぽぽを見ると「たんぽぽはじょうぶな草です。」という説明文を思い出します。この単元はよく前期の教育実習で扱ったような記憶があります。

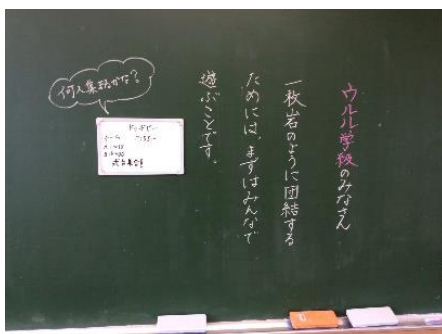


さて、4月から朝の附属小の光景が間違いなく変わりました。3月までも1年を通して校庭から子どもたちの歓声が途絶えることはありませんでしたが、その歓声が今まで以上に大きくなり、先生方と子どもたちとの距離が近くなっているように感じます。

打合せで堀之内教頭先生は先生方には朝に積極的に子どもと遊ぶように声掛けしています。また、佐々木先生（主幹）は「自分も遊びに入ります」と宣言してくれました。7学年部も含めて、学校全体が同じ方向を向いて子どもと関わっていこうとする雰囲気は今まで以上に強くなったように思います。

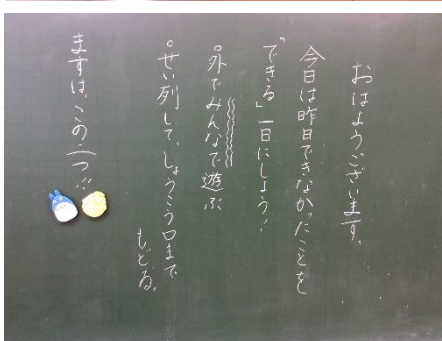
その最大の功労者は今年着任されたばかりの先生方です。学級担任の先生はもちろん、学級をもっていない宮澤先生まで元気に子どもたちと遊んでくれています。

写真は上段が4年1組、下段が4年2組の朝の黒板に書かれた担任の先生の子どもたちへのメッセージと校庭で子どもたちと遊ぶ様子です。2つの学級に共通していることは「みんなで遊ぶ」というメッセージを発信していることです。



附属小ではこの時間がいかに大切かをみんなが分かっているので実習生にも私たちと同じように遊ぶことを推奨しています。

ただ、先生方の朝の遊びに向かう姿勢には頭が下がる思いですが、今年着任したばかりの先生方はどうか無理をしないでください。(十分先生方の思いは子どもたちに伝わっています。1年間の長丁場です。自分の体調と相談しながら参加してください。)



朝の遊びはその後の朝の活動に向かう「導入」です。

これからは外で活動するには絶好の季節になってきます。「朝の会」を外で行ったり、外で合唱をしたり、時にはそのまま、子どもたちと体を動かしたりと、すばらしい環境はアイデア次第で様々な活動の可能性を提供してくれています。そして、そのように爽やかに1日をスタートし、子どもたちの心身を開放することが、子どもたちの授業への集中力の高まり、つまり質の高い授業につながっていきます。附属小の1日は新学習指導要領の改訂のポイントで求められている「各学校におけるカリキュラム・マネジメント」の確立が立派に構築されているのです。

(文責：副校長 手代木)